

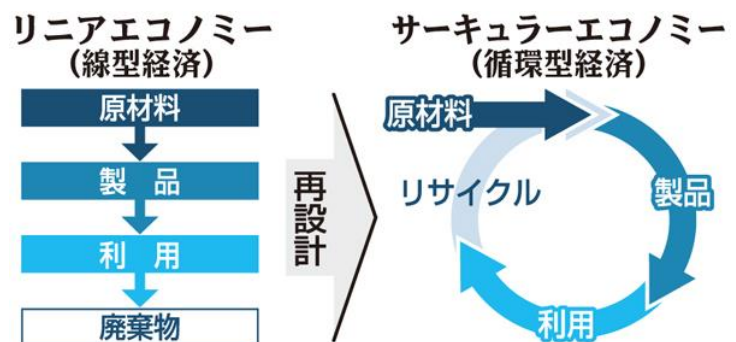


サーキュラーエコノミーって何？

◆資源循環させ経済成長／産業革命以来の転換

Q－最近、「サーキュラーエコノミー（CE）」という言葉を目にするようになったけど、どういう意味なの。

A－日本語で「循環型経済」を意味します。これまでは「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」を行う一方通行の経済活動でした。対してCEは、資源を循環させることでエネルギー消費や廃棄物の発生を抑え、経済成長と環境負荷の低減を両立させる経済システムです。例えば、海洋プラスチックごみ由来の素材の利用、電気自動車特化型のカーシェアリングサービス、着られなくなった服をバッグなど付加価値のある製品に生まれ変わらせるアップサイクルなどが挙げられます。



Q－CEが広がっている背景は。

A－近年、資源や食料の需要が増大し、廃棄物も増えています。また気候変動など環境問題も深刻化し、もはやこれまでのような経済活動を続けていくことが難しい状況です。環境に配慮した循環型の経済活動を進めようと、2015年にEUが行動計画を公表したことで世界的にCEの導入が進んでいます。

Q－県内ではどのような取り組みがあるの。

A－21年2月にハリタ金属（高岡市）と関係会社が「一般社団法人循環経済協会」を設立し、廃棄物の適性循環を図るなど、循環型ビジネスの普及と定着に努めています。また、同年3月に環境省と経済産業省、経団連が連携して立ち上げた「循環経済パートナーシップ（J4CE）」には、富山環境整備（富山市）が参加し、プラスチックの循環のための実証実験を行うなど、さまざまな業種で取り組みが始まっています。

Q－今後の展望は。

A－環境省、経済産業省が中心となって、これまでのリサイクル活動を発展させつつ、循環型経済への転換を進めていく「循環経済ビジョン」を20年に発表しています。産業革命以来の経済活動の転換とも言われているCEは、経済価値が非常に大きく、多くの国で政策の中核に位置付けられることになりそうです。

（北陸経済研究所の中陳岩夫が解説しました）